

広報文芸

自由俳句

おおくさの会編集室選

おまけの歳一つ重ね笑顔で暮らしたい

茶屋 木山 輝子

今が吉日と天井裏の遺物の処分思いつく

茶屋 藤原 寿郎

大掃除断捨離できずまた拾う

宝谷 長尾 智恵

冬の野菜取り込んで朝の味噌汁ぐ沢山

茶屋 小林 道子

病院で声かけくれし句友の親切至福の一日に

生山 渡辺 圭子

目覚めて良かった朝方の夢

茶屋 長谷川由美子

短歌

人は皆色は匂えど散りぬるを 定めとはいえやるせなきかな

春を呼ぶ三寒四温時移り 体調管理着衣で慣らす

撮り鉄や農道の中群がりて やくもの通過シャッターの音

待ちわびて弾む心で踏み出しぬ 皆で笑顔のノルディックウオーク

早朝にセツセツと雪掻を スノーダンプが汗をかき

朝起きて最初に口に出る言葉 ヨッコラショにて今日の始まり

広報にちなんでは、みなさんから投稿のあった俳句・短歌・川柳をご紹介します。

俳句

駄句駄句会編集室

山茶花や皺多かる手引く小道

萩原 岡本 健三

稜線の背より燃えたつ寒夕焼

宮内 木村萬佐子

年賀交す故郷の人みなやさし

宮内 田邊登志美

大粒の黒豆炊きし淑氣満つ

宮内 船越 裕子

老い仲間手書年賀の温かさ

矢戸 和田 淑子

お元日西も東も青空に

神戸上 笹間 玲子

つもる雪あわてて買うや厚手シャツ

阿毘縁 秦 節

初雪だ我も童心ころげこむ

花口 田邊 正人

雪やみて星々と会う深夜便

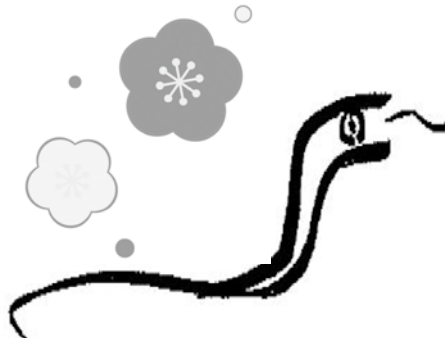
下石見 矢田貝 元

ふきのとう春が来たよと顔を出し

花口 新田 祐士

そよ風が弥生の香り乗せて来て

花口 新田 祐士



「手話教室のお知らせ」

手の動きや顔の表情で意思を伝える手話。鳥取県では手話言語条例制定後、手話を見かける機会が増えています。日南町手話サークルでは、1ヶ月に2回のペースで基本的な手話の学習会を開催しています。手話に興味をお持ちの方は、一緒に手話を学んでみませんか。

3月の日程

3月はお休みします。

「大阪」



右手の人指し指と中指を立てて頭の横から前へ軽<2回出す

「京都」



親指と人指し指を伸ばし下に2回さげる(1回だと西)

「東京」



親指と人指し指を伸ばし上に2回上げる(1回だと東)

「手話表現には、色々な表現方法があります。」

